

出前講座



「中学生のための地域医療講座」

～幅広い年代に知ってもらうために～



市では、若い世代にも看取りや人生会議について関心を持ってもらうため、三島市医師会と協力し、公立中学校を巡回して出前講座を開催しています。多くの方を自宅で見取っている医師が、孫世代の中学生に語りかけるもので、中学生が祖母・両親、いずれ来る自分のこれからの人生を想像し、思いを共有、自宅などで話をするきっかけになっています。

中学生

の

感想

誰かと助け合って幸せな一生を送りたいと思いました。講座で見た写真は、家族と一緒にとても楽しそうに見えました。

家族に見守られて終わる一生を送りたい。

もし病気にかかり死が近づいたらどうしたいかなど、家族で話してみたいと思った。楽しい人生を送りたい。

人は一人では生きていけないので、周囲の援助を受けながら、それに応えられるような一生を過ごしていきたい。祖父がいるので、人生会議を家族に提案したい。

結びに

人生会議とは

「もしも」のときに備え、自分の大切にしていることや望む医療・介護について考え、自分の信頼する人たちと繰り返し話し合い、共有すること

元気なときに、最期のときの治療・介護を決めることは難しいことかもしれません。しかしあまり難しく考えず、「自分の人生にとって大切なこと」や「最期に望まないこと」を考えてみてください。そして、その思いを家族や友人と共有してください。

まずは、話し合いのきっかけを作り、話し合いの場を持つことが重要です。

また、せっかく行った人生会議、自分や大切な人の考えや思いを整理するため、看取りガイド（人として最期を迎えるとき）を活用してください。自分なりのエンディングノートを作るのもよいかもしれません。

看取りガイドをご活用ください



看取りガイドは、地域包括ケア推進課で配付しています。いろいろな団体の依頼を受け、看取りガイド・人生会議などについての出前講座も行っていますので、ご希望がありましたらお声がけください。

下水道に異物を流さないようお願いします



問合せ 下水道課 ☎ 983・2662

市の下水道には、ポンプ施設が多数設置されていますが、最近異物混入によるポンプの緊急停止が多発しています。異物を流すと、宅地内の排水管（排水設備）や下水道管の詰まり、ポンプの停止や故障などにつながるため、水で分解されないものを絶対に下水道に流さないようお願いします。 ※写真はマンホールポンプ点検の様子です

下水道管が詰まったり、ポンプが停止してしまうと・・・

汚水が道路にあふれたり、周辺地域にお住いの皆さんが下水道を利用できなくなるなど、皆さんの生活や事業活動に多大な影響が生じます。

また、次に紹介する「下水道へ流してはいけないもの」を流すと、浄化センターで水処理ができなくなるだけでなく、元に戻すために電気料など多大な維持管理費がかかってしまいます。

下水道へ流してはいけないもの

水で分解されないもの

紙おむつ、ティッシュペーパー、キッチンペーパー、ウェットティッシュ、生理用品、タオルなどの繊維類、ビニールなどは下水道管の詰まりやポンプ場の故障の原因となります。

※トイレに流せるふき取りシートでも、大量に流すと詰まりの原因となります。

てんぷら油やサラダ油

下水道管の中で固まり、詰まりの原因となるほか、浄化センターの微生物に悪影響を与えます。

揮発性の高い危険物

ガソリン、シンナー、アルコール類などの揮発性の高い危険物は下水道管の中で爆発を起こす原因となります。

野菜くず、ごみ、ペットの排泄物

野菜くずやペットの排泄物に付着した不純物などが下水道管の詰まりの原因となります。ごみとして出してください。

薬品、有害物質

農薬、殺虫剤などの薬品、カドミウムやシアンなどの有害物質は浄化センターの微生物に悪影響を与えます。

規制物質

下水道法及び三島市下水道条例により、下水道に流すことができる汚水の基準（下水道排除基準）が定められています。事業活動に伴い、排除基準に違反した汚水を下水道に流した場合、罰則が適用されます。